

2024年度 学校関係者評価委員会議事録

四国歯科衛生士学院専門学校

	<p>4.適切 3.ほぼ適切 2. やや不適切 1.不適切 の 4 段階評価を集計し、その平均値を評価基準とした。</p> <p>評価項目ごとに評定の結果の報告と今後の改善方策の説明を行った。(別紙)</p> <p>3. 教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の集中力向上、教員負担の軽減、学習機会の確保のために、今年度より 1 単位時間を 60 分から 45 分に短縮した。 <p>午前 1 時限目 9:30 ~ 10:15 2 時限目 10:15 ~ 11:00 休憩 11:00 ~ 11:15 3 時限目 11:15 ~ 12:00 昼休憩 12:00 ~ 13:00 4 時限目 13:00 ~ 13:45 5 時限目 13:45 ~ 14:30 休憩 14:30 ~ 14:45 6 時限目 14:45 ~ 15:30</p> <p>稻井：効率よく勉強ができている</p> <p>板東：審美学会認定 ホワイトニングコーディネーター 歯科衛生士でなければ認定されない。リタイアする人が減るのでは。</p> <p>河野：就職ガイダンスでも、審美歯科は人気である</p> <p>稻井：就職意欲ない学生、就職活動をするのはどうか</p> <p>学生募集</p> <p>県外から進学する学生の住宅支援を考えている</p> <p>モニター付き実習机の導入 (R6 後期) 手元がよく見える。</p> <p>財政 安定しているとは言えないが、募集につなげていきたい。</p> <p>3. R6 年度、自己評価について</p> <p>板東：SNS はだれが行っているのか</p> <p>事務長稻井、理事長小松原、広告は業者 プロに依頼すべきか？</p> <p>クリックした数、広告を見た数はわかるが入学に繋がったかは不明。 学生が自由に載せるのは危険。</p> <p>若い歯科衛生士の動画作成能力高い。MFT 動画 DH 石留作成。</p> <p>4. 学校が設定した当初の評価項目の達成と取り組み状況について 国家試験 100 % 達成難しい。</p>
--	---

中途退学、休学の増加。
実習中にくじけてしまう学生もいる。
精神的に弱くなっている。
歯科医師も歯科衛生士も、一度は患者さんに怒られる。
心が折れてしまう。歯科医師もある。

5. 教育活動・学校運営の質向上のための今後の課題と改善策

教育活動

1時間45分、再履修 不足の分だけ履修→効果は出ているだろう。

新しい機器を使用しての授業→実習先で見せてもらう

学校運営

入学生の減少→リカレント、復職支援を小学生から、早い時期から始めるべき、5校合同 中学生職業体験

南部中学校、近いので何かできるのではないか？

学校歯科医との協力必要。歯科保健指導に行くのは効果がある。

早めの作戦。

6. 質疑応答

就職辞退あり。みんなが就職活動をしているから自分もする。内定もらうが、歯科衛生士にはならない。意思確認

内定辞退、基本は本人。大手企業と歯科医院の内定は違う。退職に代行業者を使ったり、内定辞退がないように、食事会を開いたり企業は努力している。

次回の開催日及び時間について（案）

令和7年3月12日(木) 18:00～19:00

以上をもって、議長、河野が閉会を宣言した。